

2018年卒 企業 外国人留学生採用状況調査

2018年7月2日 Ver.1

■本調査に関するお問い合わせ先
株式会社マイナビ 就職情報事業本部
グローバル採用企画統括部 グローバル採用支援課
TEL:03(6267)4565
E-mail:job-mgc@mynavi.jp



◆調査目的について

少子高齢化に伴う労働人口の減少は、現在の日本の大きな課題です。ダイバーシティ推進の観点からも、昨今外国人留学生の採用が徐々に活発化しており、外国人留学生の採用に関する現時点での実績や価値観、今後の採用計画などについて明らかにするため、調査を行いました。

- ◆調査方法 WEBアンケート回答フォームより
- ◆調査期間 2017年11月14日(火)～2017年12月8日(金)
- ◆調査対象 2018年卒新卒採用を実施されている人事担当者
- ◆有効回答数 454社
- ◆回答企業の内訳

上場・非上場／製造業・非製造業

区分	上場	非上場	製造業	非製造業
回答数	70	384	150	304
全体に対する割合	18.2%	81.8%	33.0%	67.0%

従業員規模数

従業員規模	100人未満	100～299人	300～499人	500～999人	1,000～2,999人	3,000～4,999人	5,000人以上
回答数	108	152	76	46	49	8	15
全体に対する割合	23.8%	33.5%	16.7%	10.1%	10.8%	1.8%	3.3%

【INDEX】

◆01 外国人留学生の採用目的・理由について

- 1) 外国人留学生の採用目的について
- 2) 外国人留学生に求める要件について（資質・スキル・日本語レベル）
- 3) 採用した（予定している）学生の国籍・エリアについて
- 4) 外国人留学生の配属予定先／配属実績について
- 5) 外国人留学生を採用する際の懸念点／採用を行わない理由について

◆02 外国人留学生の採用活動状況や結果について

- 6) 外国人留学生の採用状況について
- 7) 外国人留学生の採用実績人数について
- 8) 外国人留学生の採用手法について
- 9) 外国人留学生の採用フローと内定辞退について
- 10) 2018年卒・2019年卒選考時期と内々定時期について（1）、（2）

◆03 外国人留学生の採用後・入社後について

- 1 1) 外国人留学生の入社前の準備について
- 1 2) 外国人留学生の入社後の「活躍」と「違い」について
- 1 3) 外国人留学生の入社後の離職期間について
- 1 4) 外国人留学生の入社後の離職理由について

◆04 今後の採用活動について

- 1 5) 今後の外国人留学生採用予定について
- 1 6) 外国人留学生の2019年卒採用予定について

01

外国人留学生の採用目的・理由について



- 1) 外国人留学生の採用目的について
- 2) 外国人留学生に求める要件について（資質・スキル・日本語レベル）
- 3) 採用した（予定している）学生の国籍・エリアについて
- 4) 外国人留学生の配属予定先／配属実績について
- 5) 外国人留学生採用の際の懸念点／採用を行っていない理由について

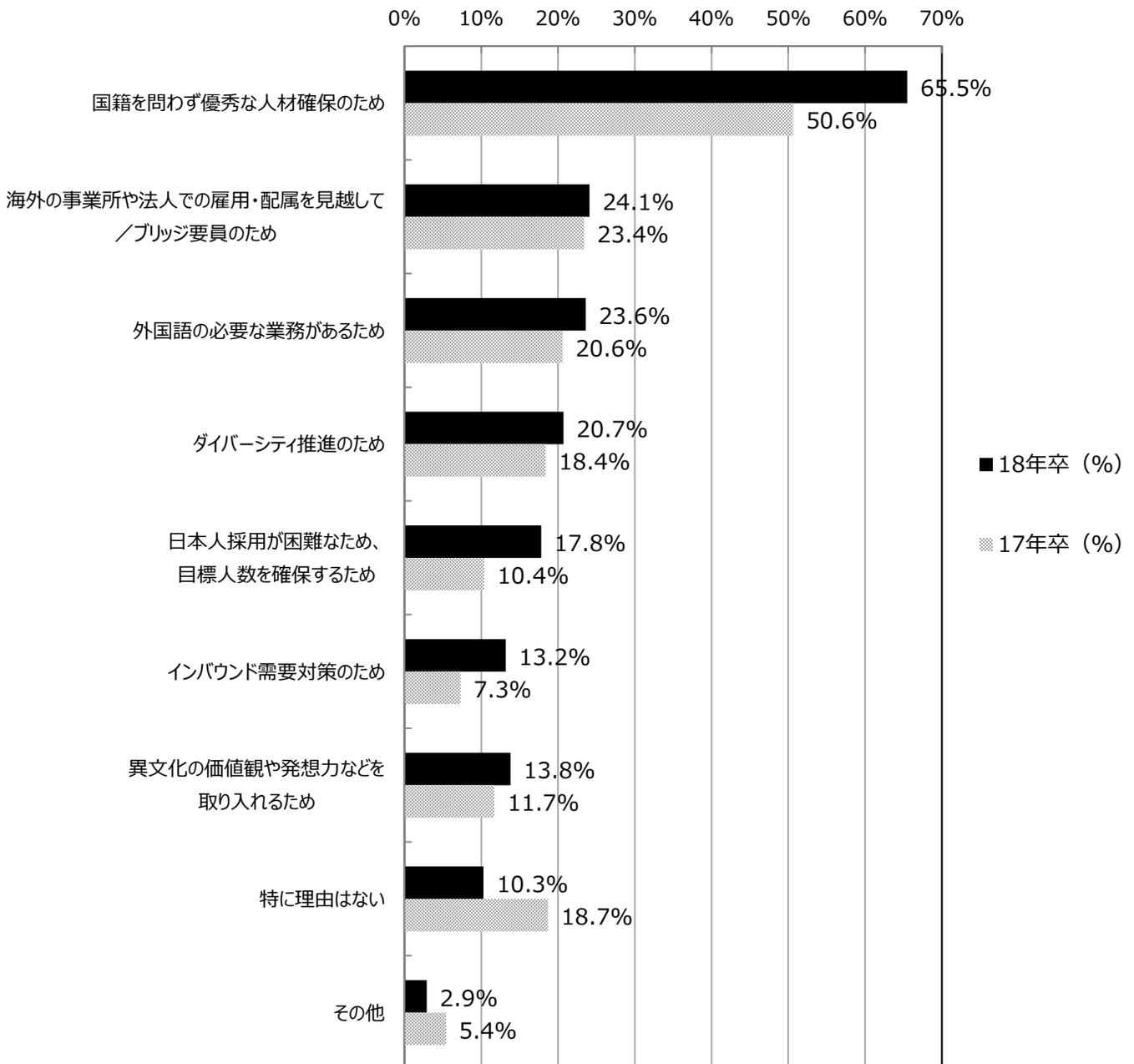
国内新卒採用の厳しさを背景に「優秀な人材確保のため」の割合が大幅増加

外国人留学生の採用目的で「国籍を問わず優秀な人材確保のため」は、前年の50.6%から65.5%に大幅に増加。「日本人採用が困難なため」も昨年に比べて7.4%増加しており、国内新卒採用の厳しい状況から、外国人留学生にターゲットを広げてきていることがわかる。そのほか、「インバウンド需要対策のため」が5.9%増加。国際業務に起因する採用目的は昨年に続き2割程度を保持しているが、外国人留学生が違った要因で求められるようになってきたことがうかがえる。

◆外国人留学生の採用目的について教えてください

(複数選択、174社回答 %表記)

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



求める日本語能力の内訳に変化、能力面がより求められる傾向に

前年に続き、外国人留学生に求められる要素として「日本語能力」が最も高いものの、ビジネスレベル以上を求める割合が前年と比べて16.7%減少し、求める日本語能力の内訳に変化が見られた。一方でコミュニケーション能力を求める割合が9.9%上昇。そのほか「行動力」「課題発見・解決力」「創造的思考力」「決断力」の項目でそれぞれ4%以上の増加が見られ、語学だけではない能力面がより重視される傾向が見られた。

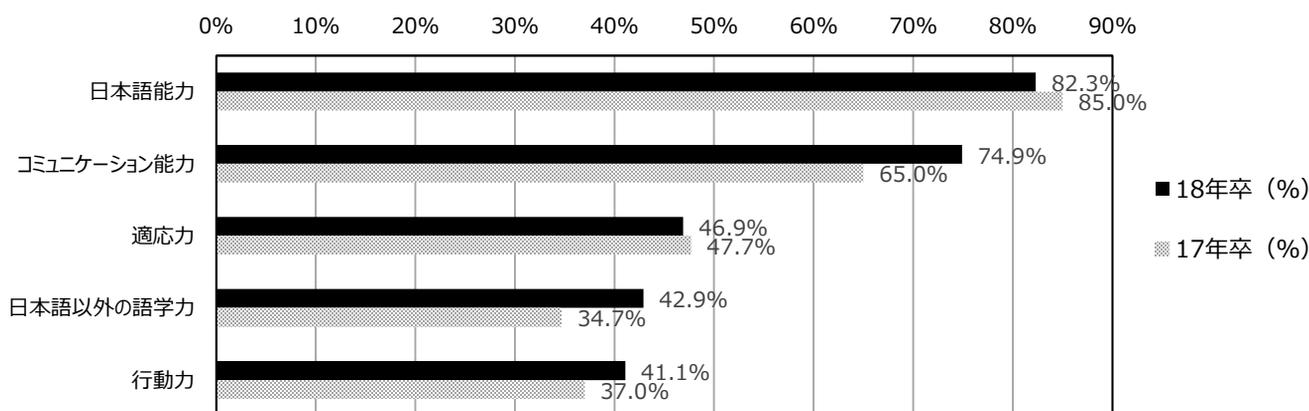
◆外国人留学生に求める資質・スキルについて (複数選択、175社回答 %表記)

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

調査年度/項目別	日本語能力	コミュニケーション能力	適応力	日本語以外の語学力	行動力	柔軟性	バイタリティ	企業や業界に対する興味・志望	国際感覚	忍耐力	日本文化の知識・経験力	課題発見・解決力	ビジネスマナー	創造的思考力	母国(海外)文化の知識・経験力	日本人学生と異なるキャラクター	決断力	留学で培われた専攻や研究などの知識・経験	オーガナイズ能力(計画・調整力)	統率力	人脈	特になし	その他
18年卒 (%)	82.3%	74.9%	46.9%	42.9%	41.1%	33.1%	32.0%	30.9%	26.9%	25.7%	24.6%	22.3%	21.1%	19.4%	14.3%	14.3%	11.4%	9.1%	6.9%	5.7%	2.9%	1.1%	3.4%
17年卒 (%)	85.0%	65.0%	47.7%	34.7%	37.0%	31.6%	33.1%	32.5%	24.6%	26.6%	-	17.8%	32.2%	15.3%	-	13.0%	6.2%	9.3%	5.9%	3.4%	-	4.8%	4.5%

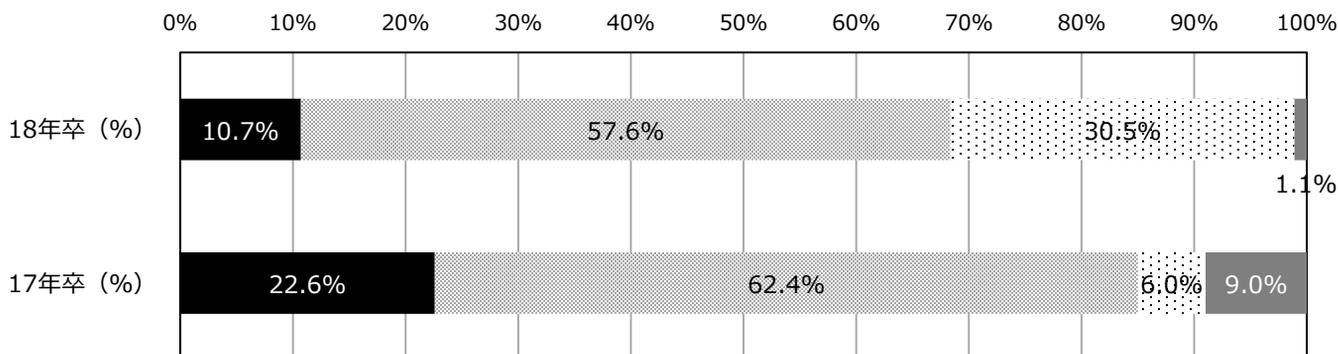
◆外国人留学生に求める資質・スキルについて ベスト5 (複数選択、175社回答 %表記)

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆外国人留学生に求める日本語レベルについて

(単一選択、177社回答 %表記) ※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



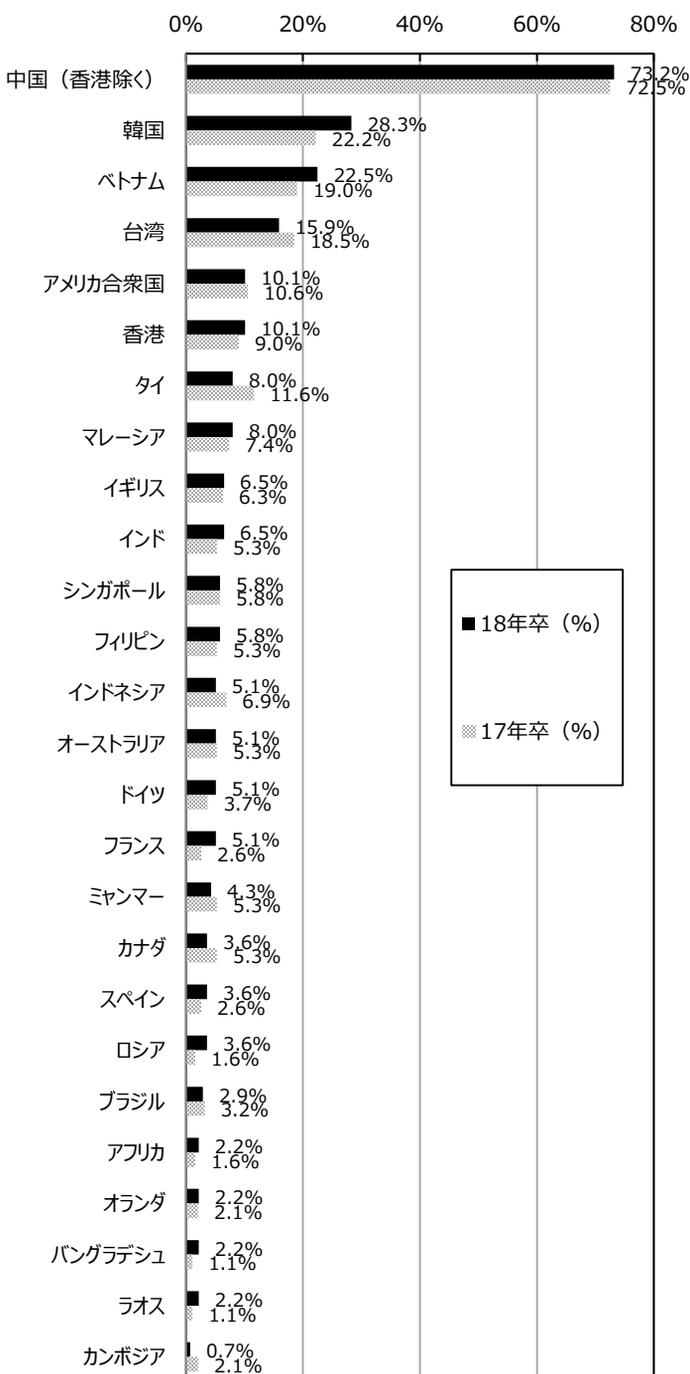
ネイティブレベル (母国語レベル)
 ビジネスレベル (ビジネス場面においてコミュニケーションが可能 日本語能力試験 N1相当)
 会話レベル (日常生活においてコミュニケーションが可能 日本語能力試験 N2相当)
 特に求めている

「中国籍」をはじめ、留学生の多い国籍を中心に採用に繋がっている

企業が採用している国籍と順位は前年と大きく変わらず、「中国籍」が最も多く73.2%、次に「韓国籍」28.3%、「ベトナム籍」22.5%、「台湾籍」15.9%と続いた。選択肢に含まれていなかった「ネパール」も自由記述欄に8社あった。日本における外国人留学生の数がそのまま採用数に概ね比例している結果となった。

◆採用した（予定している）外国人留学生の国籍・エリアについて （複数選択、158社回答 件数表記）【単位：社】

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



以下、自由記述より抜粋

【ヨーロッパ圏】

スウェーデン、ポーランド

【アジア圏】

スリランカ、ネパール、モンゴル

【その他】

ウズベキスタン、ギニア

国(地域)名	留学生数	構成比	国(地域)名	留学生数	構成比
中国	107,260人	40.20%	ウズベキスタン	1,047人	0.40%
ベトナム	61,671人	23.10%	ドイツ	888人	0.30%
ネパール	21,500人	8.10%	カンボジア	846人	0.30%
韓国	15,740人	5.90%	ロシア	701人	0.30%
台湾	8,947人	3.40%	イタリア	654人	0.20%
スリランカ	6,607人	2.50%	英国	640人	0.20%
インドネシア	5,495人	2.10%	スウェーデン	525人	0.20%
ミャンマー	4,816人	1.80%	オーストラリア	470人	0.20%
タイ	3,985人	1.50%	ブラジル	425人	0.20%
マレーシア	2,945人	1.10%	サウジアラビア	411人	0.20%
アメリカ合衆国	2,786人	1.00%	スペイン	400人	0.10%
バングラデシュ	2,748人	1.00%	シンガポール	397人	0.10%
モンゴル	2,517人	0.90%	カナダ	396人	0.10%
フィリピン	1,806人	0.70%	エジプト	356人	0.10%
フランス	1,346人	0.50%	その他	7,481人	2.80%
インド	1,236人	0.50%	計	267,042人	100.00%

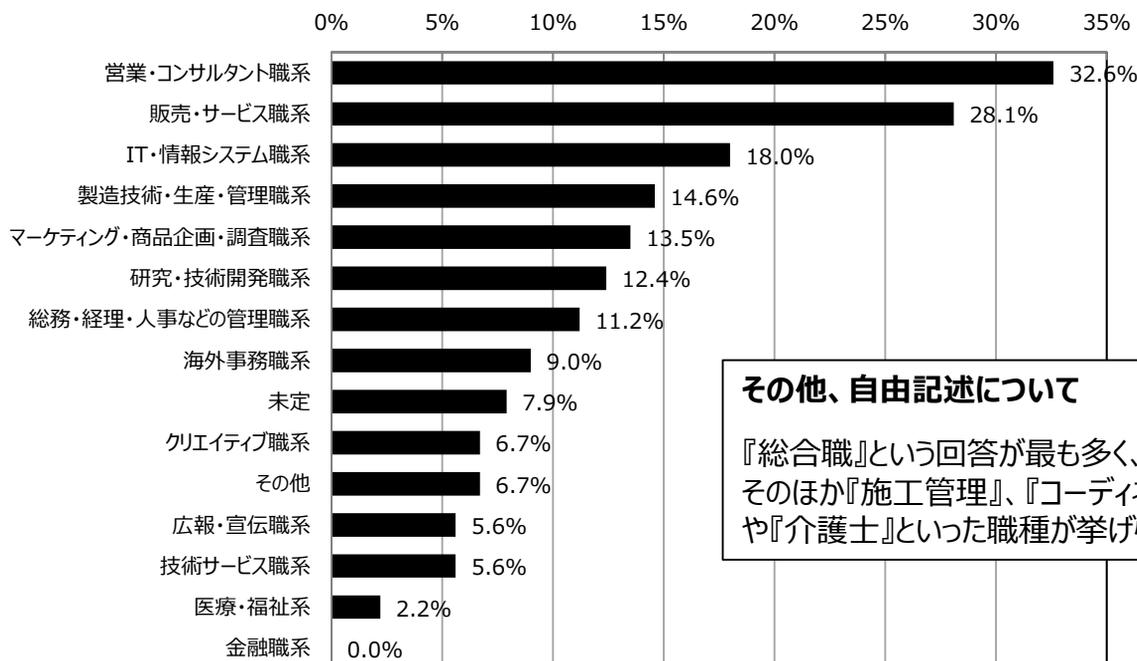
※（ ）内は平成28年5月1日現在の数
 ※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
 平成29年度外国人留学生在籍状況調査結果より

海外系の職務の配属が年々減少。その他の職務の配属予定が目立つ結果に

「営業・コンサルタント職」に続き「販売・サービス職」への配属予定が比較的高い割合となった。前年度の設問項目と異なるため単純比較はできないものの、国際業務に関係する「海外事務職」が、前年と比べて大きく順位を下げる結果となり、語学要因のための配属予定が減少している傾向が見られた。自由記述では「総合職」の記載が多く、外国人留学生の配属予定に変化が見受けられた。

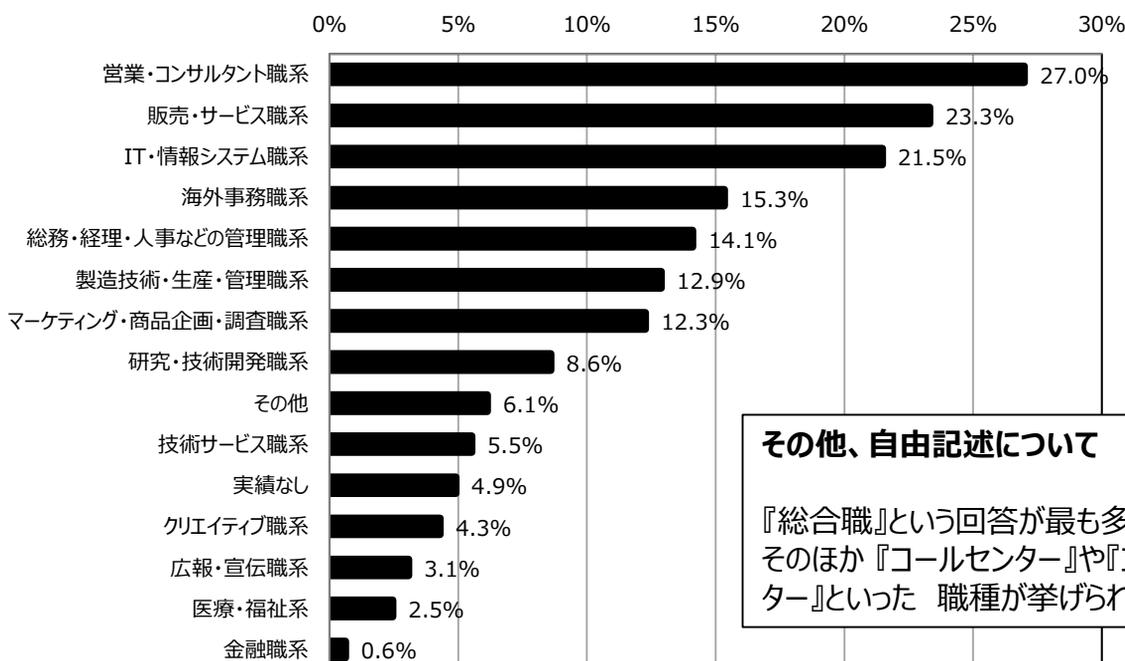
◆外国人留学生の配属先予定の部署について（複数選択、89社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆外国人留学生の配属した実績のある部署について（複数選択、66社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

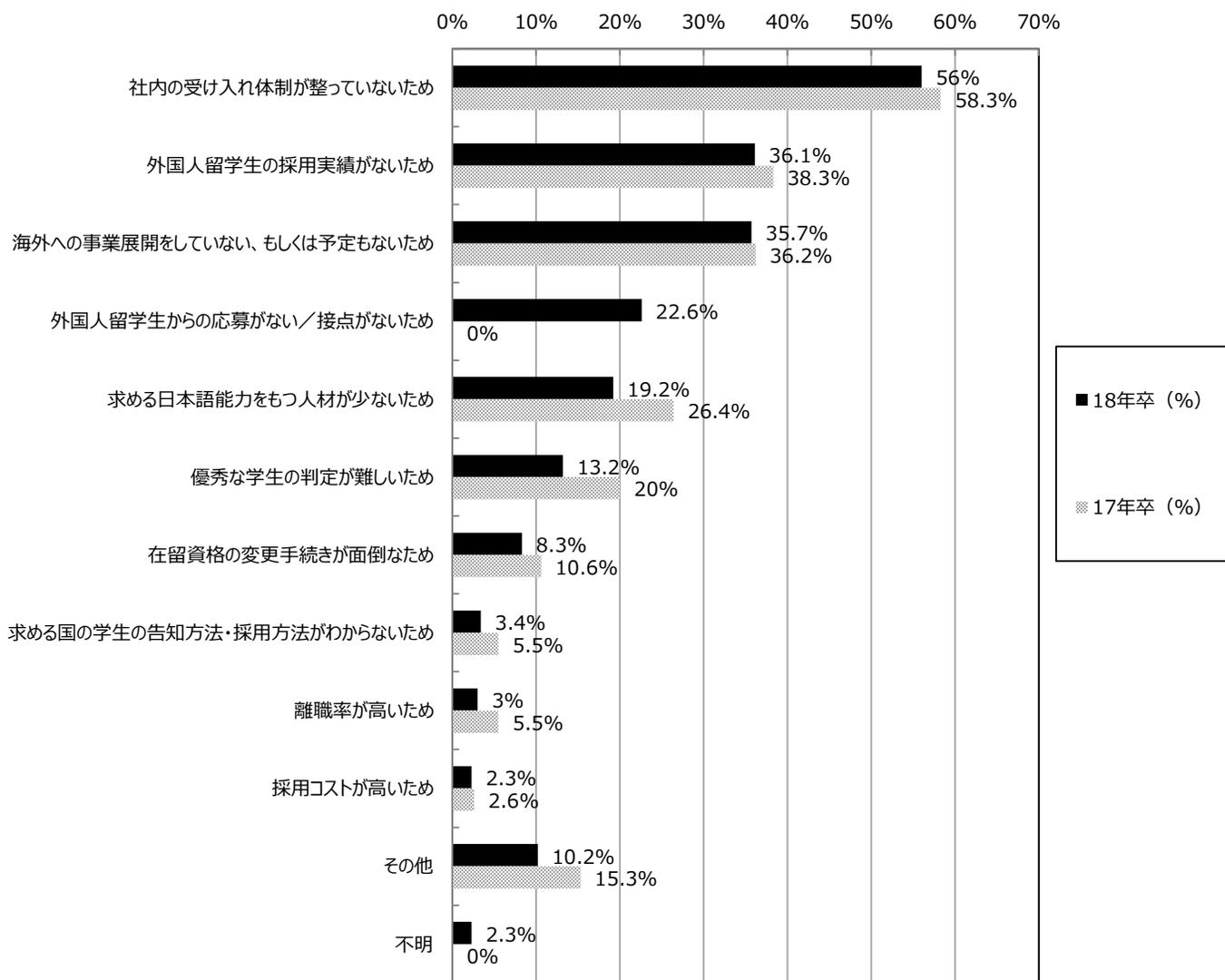


前年に続き、「受け入れ体制が整っていないため」が最も高い割合に

外国人留学生の採用を行っていない理由として、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が前年に続き56%と最も高い割合となり、続いて「外国人留学生の採用実績がないため」が挙げられた。「外国人留学生からの応募がない」も22.6%と4番目に割合が高く、そもそも外国人留学生との接点がないことから、採用するきっかけが作り出せていない状況が推察される。

◆外国人留学生採用の際の懸念点／採用を行っていない理由について (複数選択、266社回答 %表記)

※本調査にご回答頂いた採用実績が無い企業による任意回答



その他、自由記述について

『外国人留学生を職務上採用できない』という会社の方針による回答が最も多く、次に『就労ビザの取得が難しい職務』、また『機会がなかっただけ』という回答が続いた。

02

外国人留学生の採用活動状況や結果について



- 6) 外国人留学生の採用状況について
- 7) 外国人留学生の採用実績人数／採用見送りについて
- 8) 外国人留学生の採用手法／内定辞退について
- 9) 外国人留学生の採用フローについて
- 10) 2017年卒・2018年卒選考時期と内々定時期について（1）
- 10) 2019年卒の選考時期と内々定時期について（2）

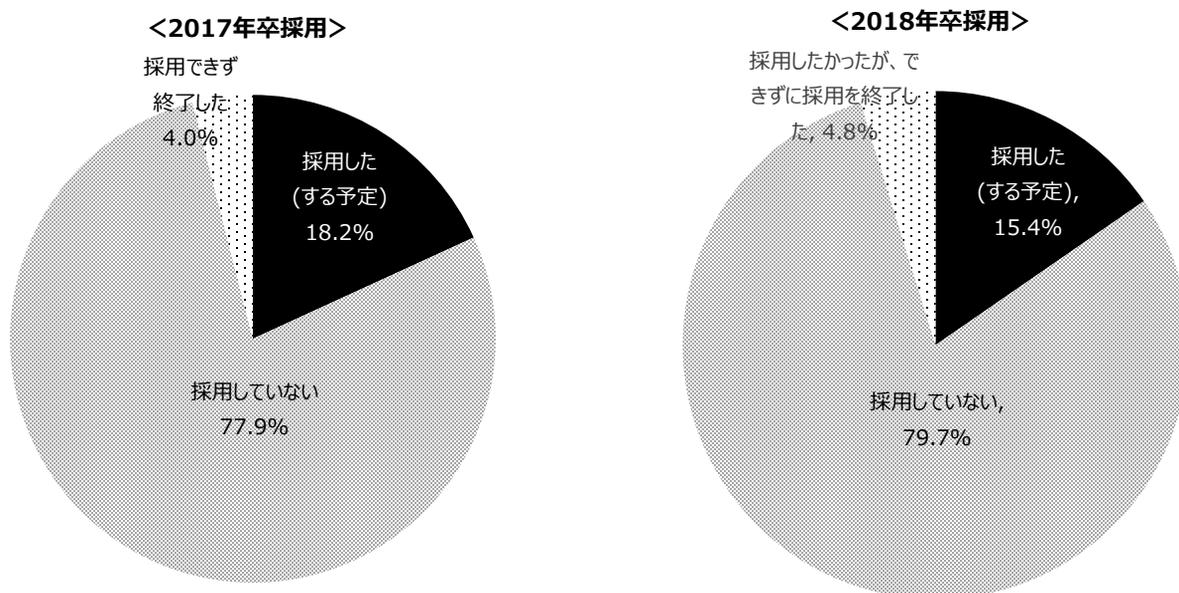
従業員数の多い企業を中心に「採用した」割合が大幅に減少

外国人留学生を「採用した」全体の割合は、前年度と比べて若干減少した。中でも、5000人以上の企業での「採用した」割合が、前年の70%から大きく割合を下げ40%に止まった。前年と比べ、従業員数の多い企業を中心に、採用を控えたことがうかがえる。

◆【全体】2018年卒採用において、外国人留学生を採用しましたか？

(単一回答、454社回答 %表記)

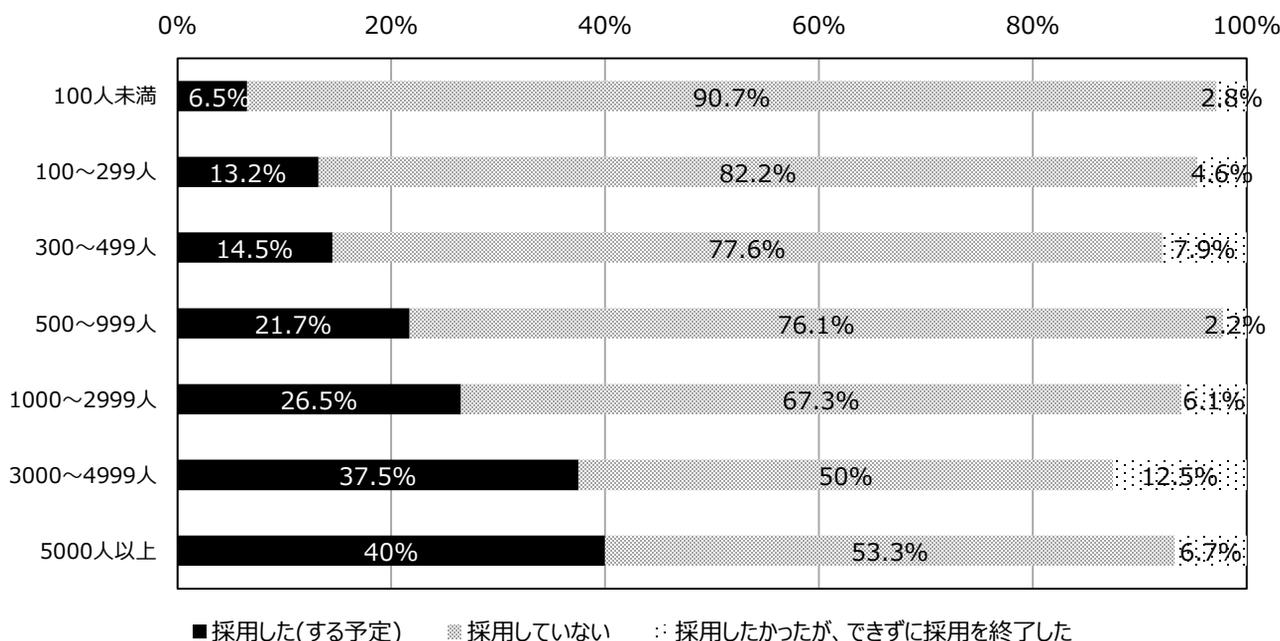
※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆【従業員数別】2018年卒採用において、外国人留学生を採用しましたか？

(単一回答、454社回答 %表記)

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



■ 採用した(する予定) ▨ 採用していない ▤ 採用したかったが、できずに採用を終了した

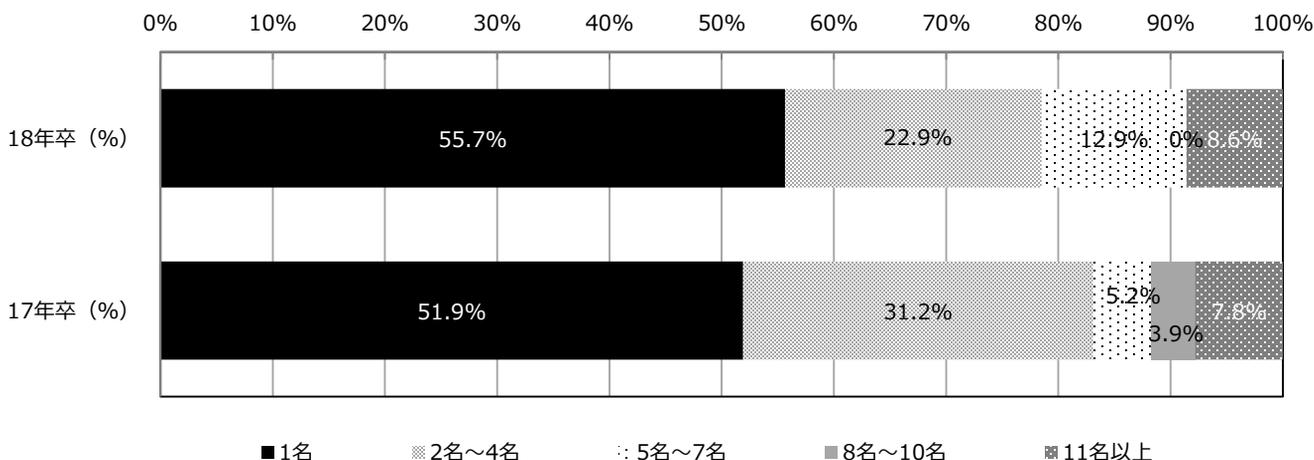
採用人数は少人数の傾向、採用見送りは応募の問題の可能性

採用人数については前年と同様の傾向が出ており、4名以下の採用が全体の約80%を占める結果となった。採用を見送った理由については「その他」の41.7%が最も多く、中でも「応募がなかった」という回答が最も多く、続いて「選考基準に達しなかった」が挙げられた。採用意欲はあるものの、採用基準に至らず採用を見送った可能性が考えられる。その他の選択肢の中では、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が前年の7.2%から19.0%と11.8%増加した。実際に採用した結果、課題が顕在化した可能性が考えられる。

◆【全体】2018年卒採用における、外国人留学生の採用人数について

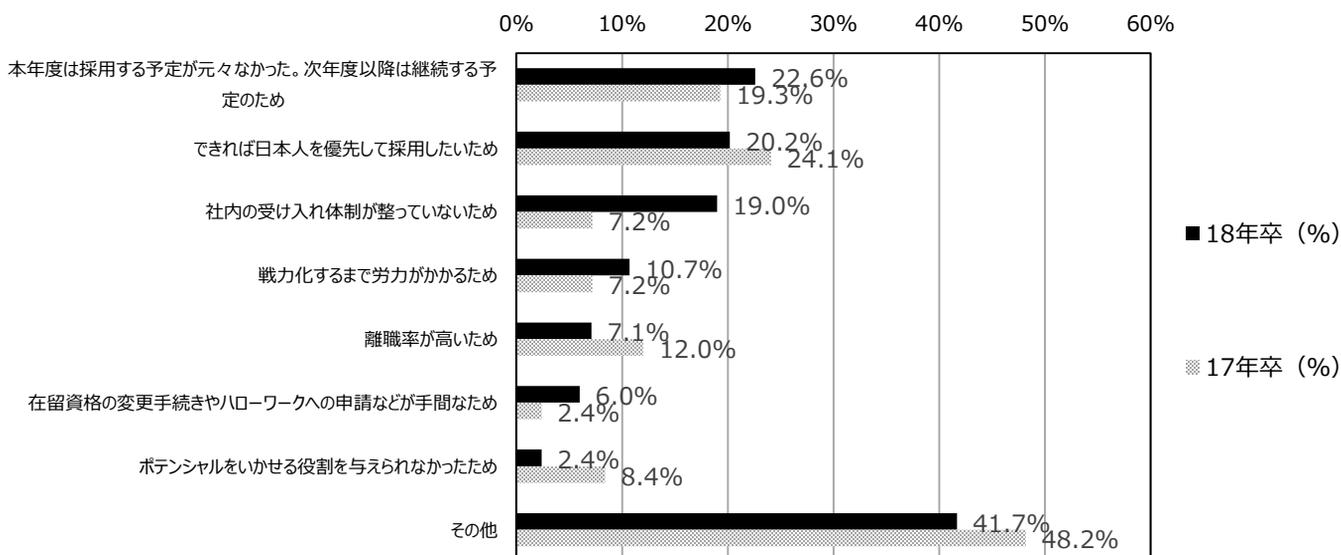
(単一回答、70社回答 %表記)

※2018年卒採用実績のある企業のみ回答



◆【過去採用実績あり】2018年卒採用における、外国人留学生採用の見送りについて

(単一回答、84社回答 %表記) ※2018年卒採用実績のある企業のみ回答



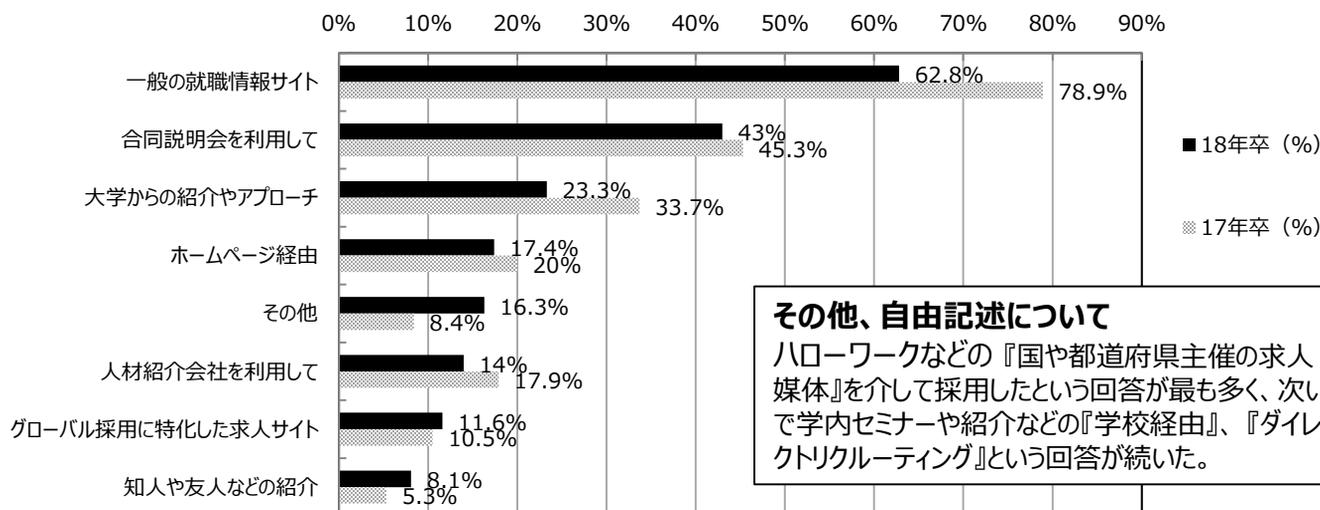
その他、自由記述について

『応募がなかった』という回答が最も多く、次に『選考基準に達しなかった』という回答が続いた。そのほか『内定辞退』などの回答が挙げられた。

外国人留学生に特化した求人媒体の利用が微増、内定辞退理由に変化

採用手法では「一般の就職情報サイト」の割合が最も高いものの、前年より16.1pt下げて62.8%に止まった。一方で、外国人留学生に特化したイベント(その他より)や求人サイトが微増となり、外国人留学生に特化した求人媒体利用がそれぞれ前年より増加した。内定辞退率は前年と大きく変わらず2割弱、内定辞退理由については「異業種の競合に負けたため」が前年の56.5%から29.2%に大幅に減少した。

◆【全体】2018年卒外国人留学生をどのような手法で採用しましたか？(複数選択、86社回答 %表記) ※2018年卒採用実績のある企業のみ回答



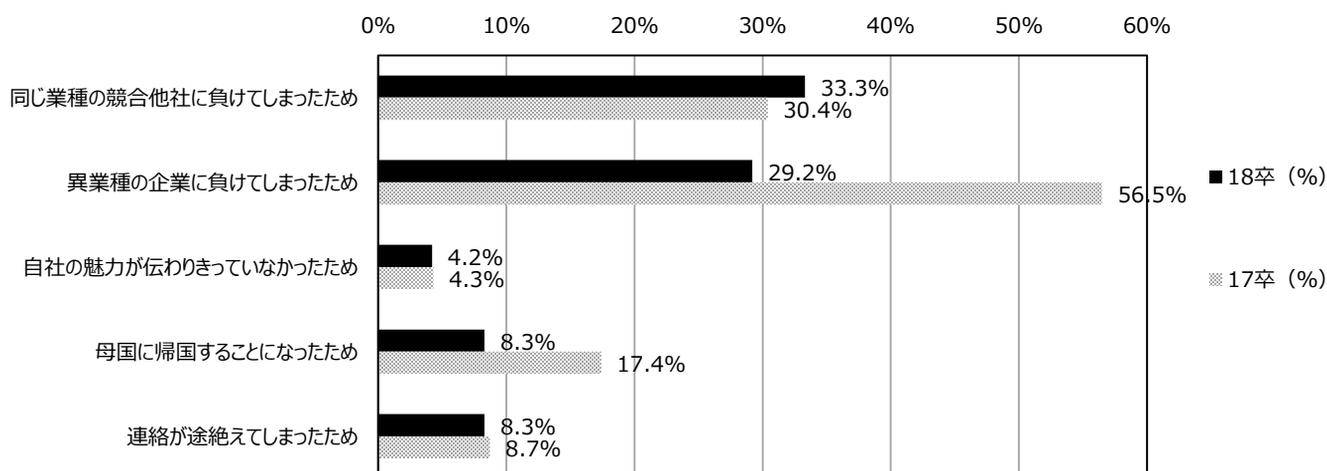
◆外国人留学生の内定通知後の辞退率(複数選択、66社回答)

※2018年卒採用実績のある企業のみ回答

<2017年卒採用>		<2018年卒採用>	
平均内定数	3.57名	平均内定数	3.12名
平均辞退数	0.71名	平均辞退数	0.56名
辞退率	約19.8%	辞退率	約17.9%

◆主な内定辞退の理由について(複数選択、24社回答 %表記)

※2018年卒採用実績のある企業のみ回答

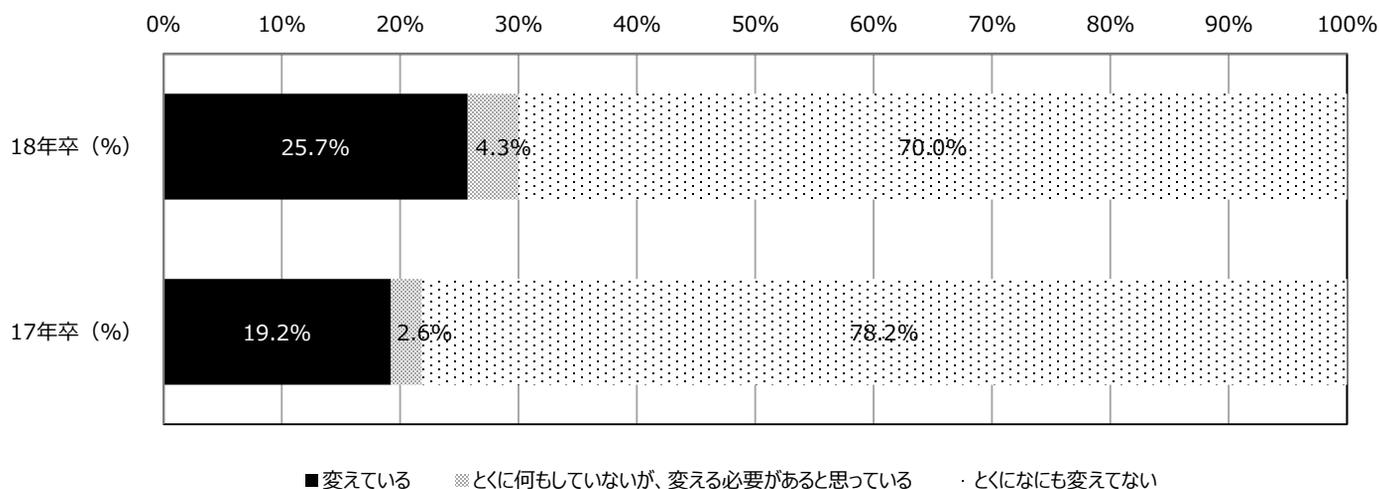


外国人留学生向けの独自の採用活動が増加傾向に

外国人留学生の採用フローを「変えている」もしくは「変える必要がある」と回答した割合は、全体の3割に上り、前年より約1割増加した。具体的には日本語能力の基準設定を変えているほか、外国人留学生向けの採用広報の展開や独自の選考方法を設けている。この広報展開と選考内容については、それぞれの項目において前年と比べて約10pt増加しており、日本人向けとは違った方法での採用活動を実施している企業が増加していることがうかがえる。

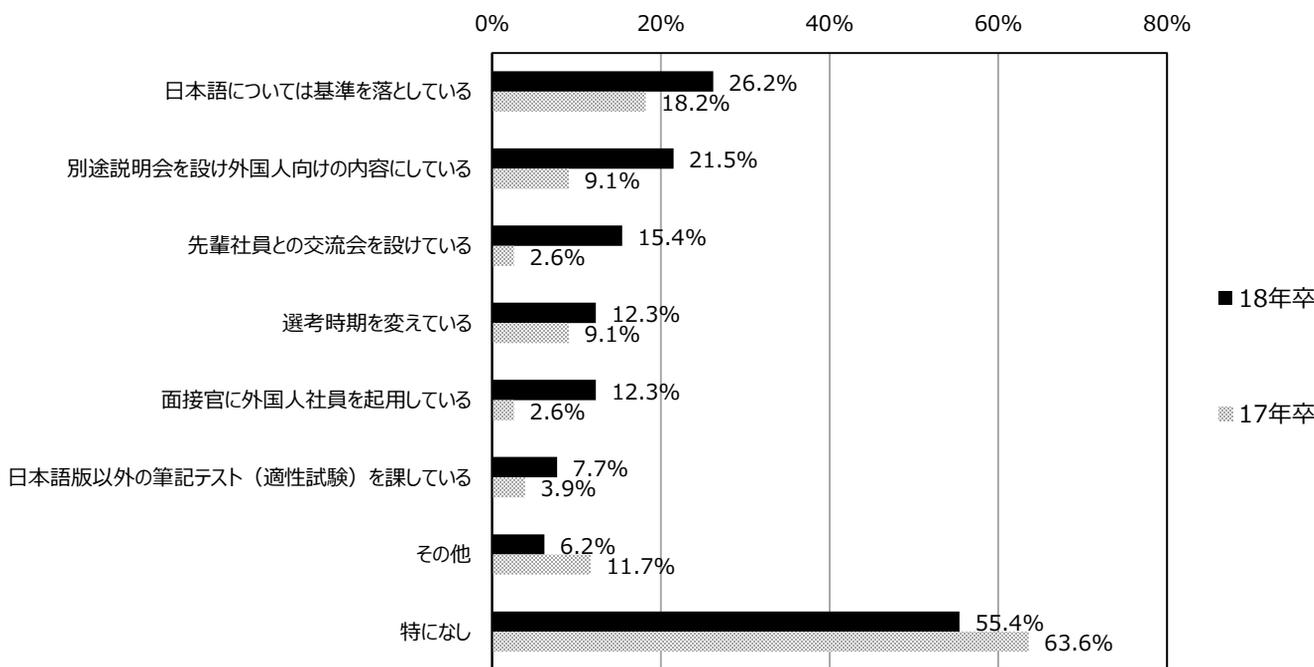
◆外国人留学生の採用フローや採用基準を変えているか？（複数選択、70社回答 %表記）

※2018年卒採用実績のある企業のみ回答



◆「変えている」もしくは「変えるべき」と回答 どのような違いを設けていますか？

（複数選択、65社回答 %表記） ※2018年卒採用実績のある企業のみ回答

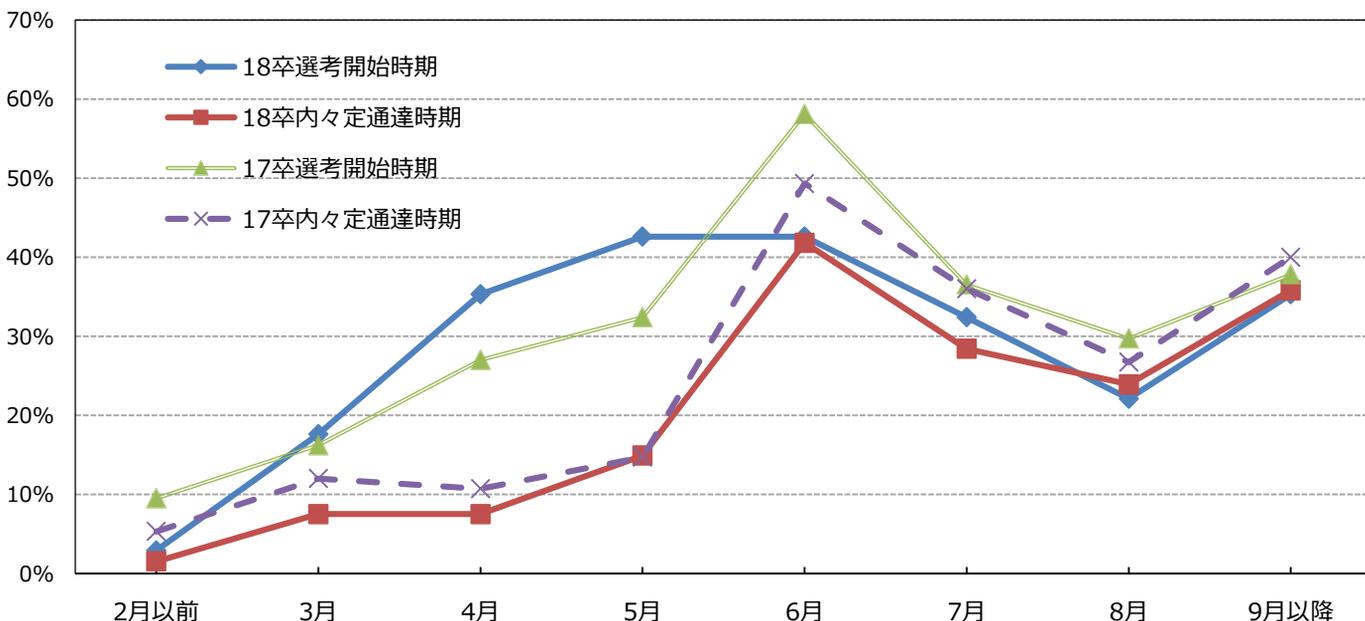


選考開始は日本人採用と比べやや遅めであるものの、前年に比べ前倒し傾向

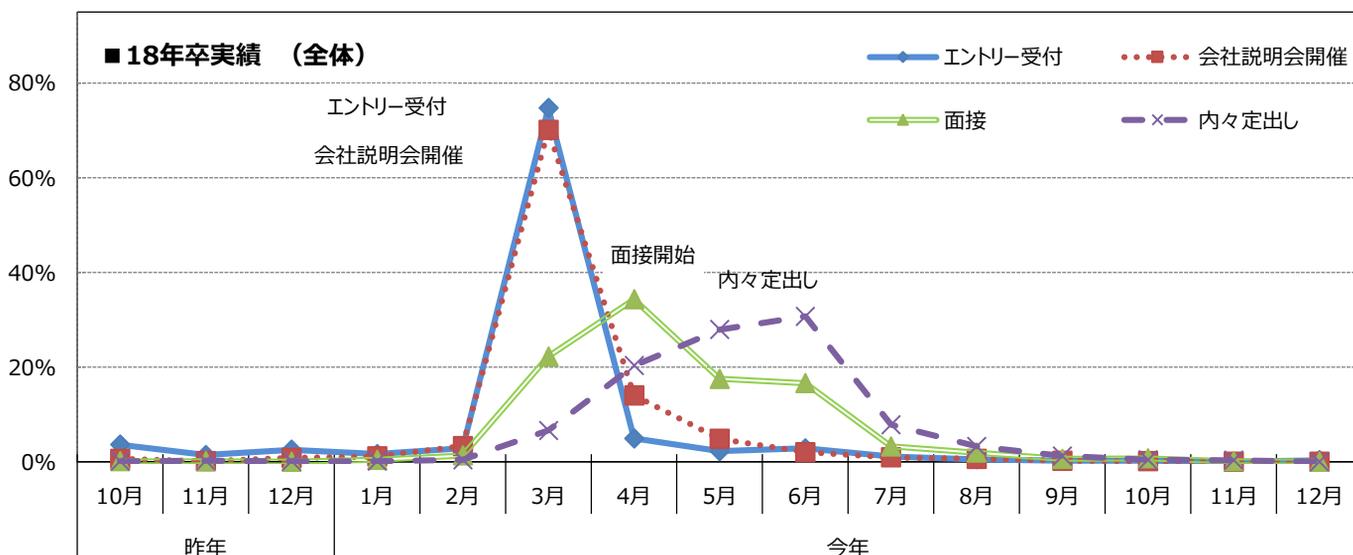
国内日本人学生の選考開始時期はピークが4月であるのに対し、外国人留学生の選考開始時期は5～6月がピークに。前年が6月にピークが来ていたのに対し、やや前倒し傾向となった。一方内定出しについては、日本人採用が4月から徐々に始め、5月と6月にかけてピークを迎えているのに対し、外国人留学生は6月に一気に内定出しが行われている。日本人採用と比べて、全体的に選考活動はやや遅めであることがわかる。

◆2018年卒、外国人留学生選考活動時期について (複数選択、68社回答 %表記)

※2018年卒採用実績のある企業のみ回答



◆参考資料：2018年卒マイナビ企業内定状況調査 (2017年11月リリース) より引用

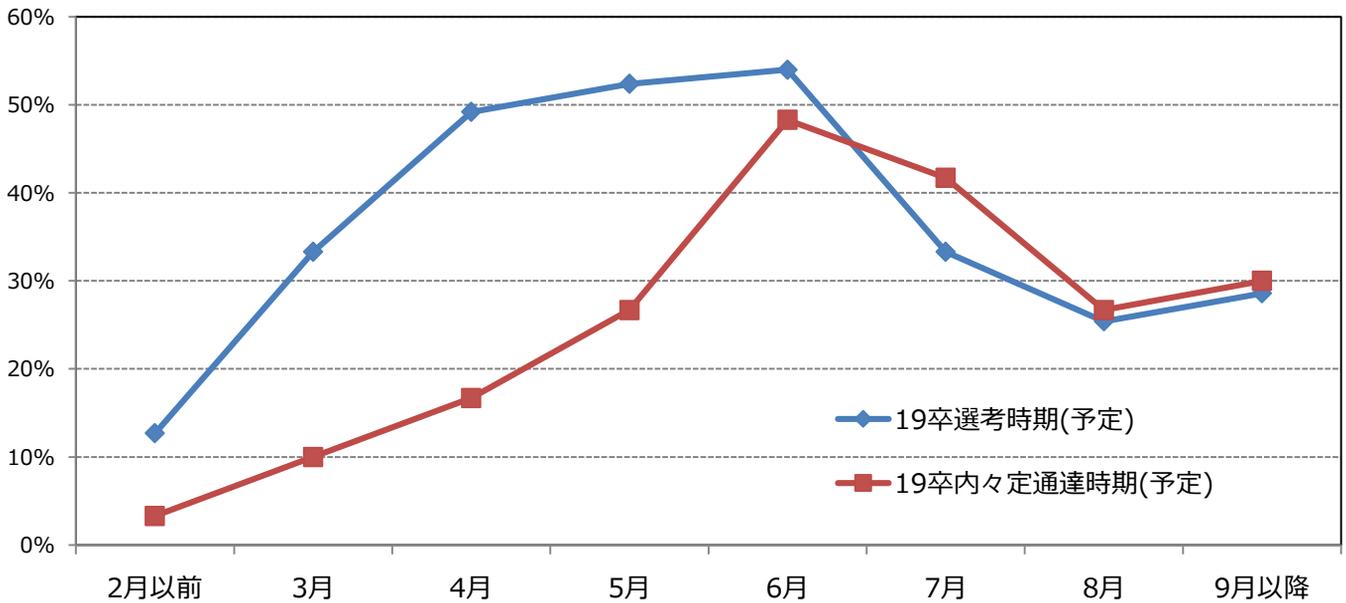


※2018年卒マイナビ企業内定状況調査 (2017年11月リリース) より引用

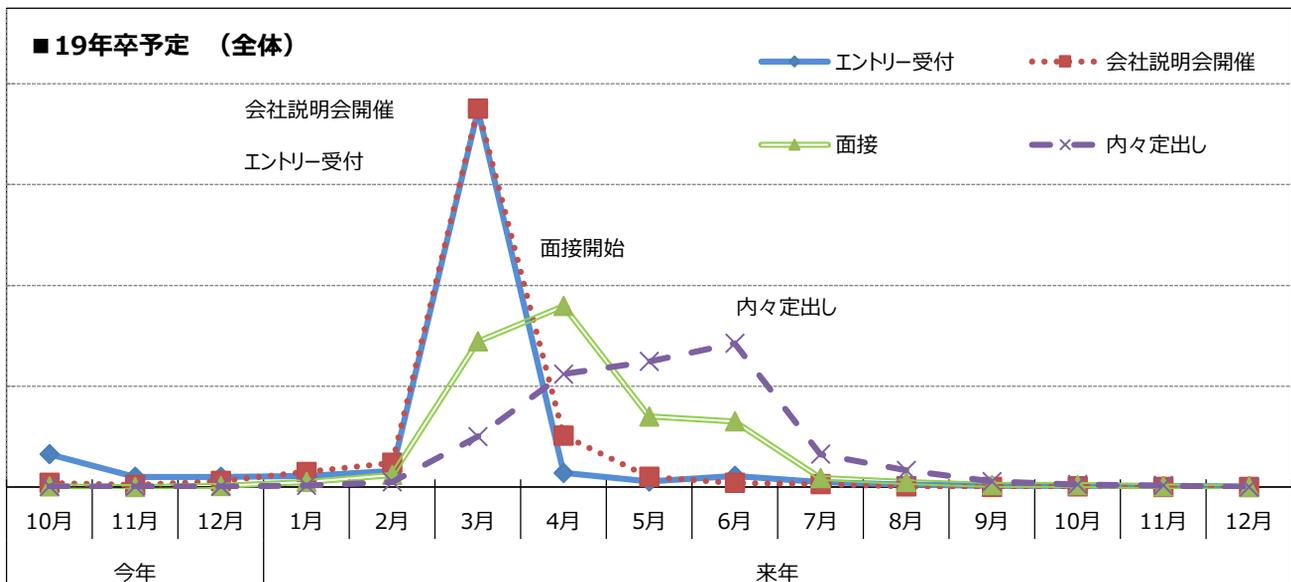
2019年卒の選考開始と内定出しの時期はいずれもやや前倒し傾向

外国人留学生の選考開始時期は、2018年卒が4月時点で35%であったのに対し、2019年卒では同時期で50%近くを予定しており、前倒し傾向にある。更に内定出しの時期も、2018年卒では4月時点で10%に満たなかったのに対し、2019年卒では、20%弱となっている。6月ピークであることは変わらないものの、それぞれの時期において割合が高くなっており、全体的に前倒しとなっている。国内日本人採用の選考時期と近づいている傾向がうかがえる。

◆外国人留学生に対する企業の動き (複数選択、60社回答 %表記)



◆国内学生に対する企業の動き (2017年11月リリース) より引用



※2018年卒マイナビ企業内定状況調査 (2017年11月リリース) より引用

03

外国人留学生の採用後・入社後について



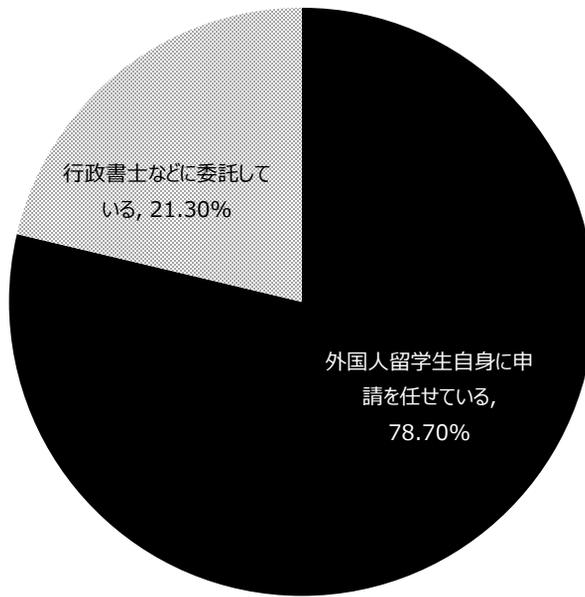
- 1 1) 外国人留学生の入社前の準備について
- 1 2) 外国人留学生の入社後の「活躍」について
- 1 3) 外国人留学生の入社後の離職期間について
- 1 4) 外国人留学生の入社後の離職理由と違いについて

在留資格は学生に任せているが約8割、企業は入社後のフォローに重点

在留資格の取得は、申請方法に不安がある企業が多いことから、学生自身に任せている割合が78.7%と高い割合となった。企業の採用後のフォローとしては、「定期的なフォロー」が前年の28.4%から47.6%と大きく伸び、採用で終わるのではなく手厚いフォローの必要性を意識しはじめている企業が増えたと考えられる。また、「受け入れ部署への研修」や「外国人社員との交流」の項目で割合も伸びており、外国人留学生自身ではなく、受け入れる側の環境作りにも重点を置いている傾向があった。

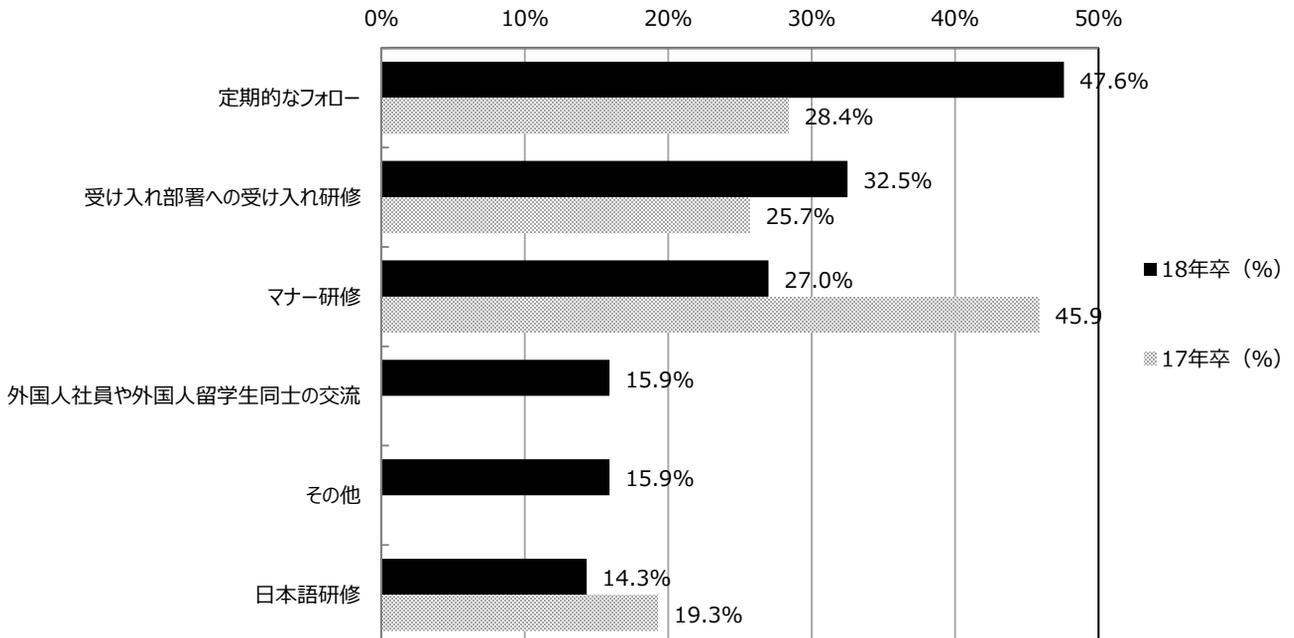
◆在留資格の取得について（単一選択、155社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆外国人留学生採用後のフォローについて（複数選択、126社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

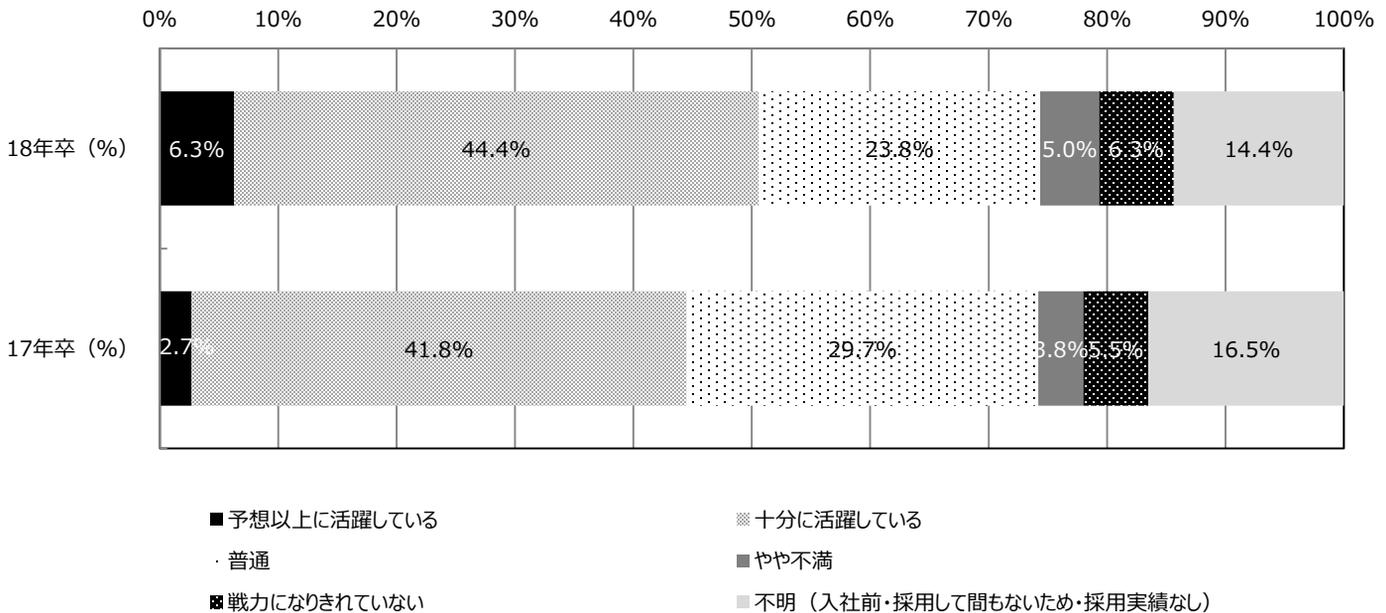


「活躍」と評価した割合が半数超え、「不満」は約1割にとどまる

「予想以上に活躍している」が6.3%、「十分に活躍している」が44.4%と合わせて50.7%が、外国人留学生の入社後の活躍ぶりを「活躍している」と評価した。自由記述では、「実績を出している」と回答数が最も多く、語学以外の要素で評価されていることが多く見受けられた。一方、「やや不満」が5.0%、「戦力になりきれていない」が6.3%となり、「不満」と評価している割合は全体の11.3%にとどまった。この結果が「外国人社員が日本人同様に活躍するかどうか不安」という企業には有意義な回答になると考えられる。

◆外国人留学生の入社後の活躍について（単一選択、160社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



その他、自由記述について（自由記述、88社回答）

<活躍と評価したポイント>

『実績を出している』という回答が最も多く、次いで『仕事に対する姿勢を評価』、『語学が活かされている』、『人柄・スキルが高い』、『社内への良い影響力』の順に回答が挙げられた。

<普通と評価したポイント>

『活躍している社員とそうではない社員がいる』が最も多く、『活用しきれていない』、『まだわからない』という回答が挙げられた。

<不満と評価したポイント>

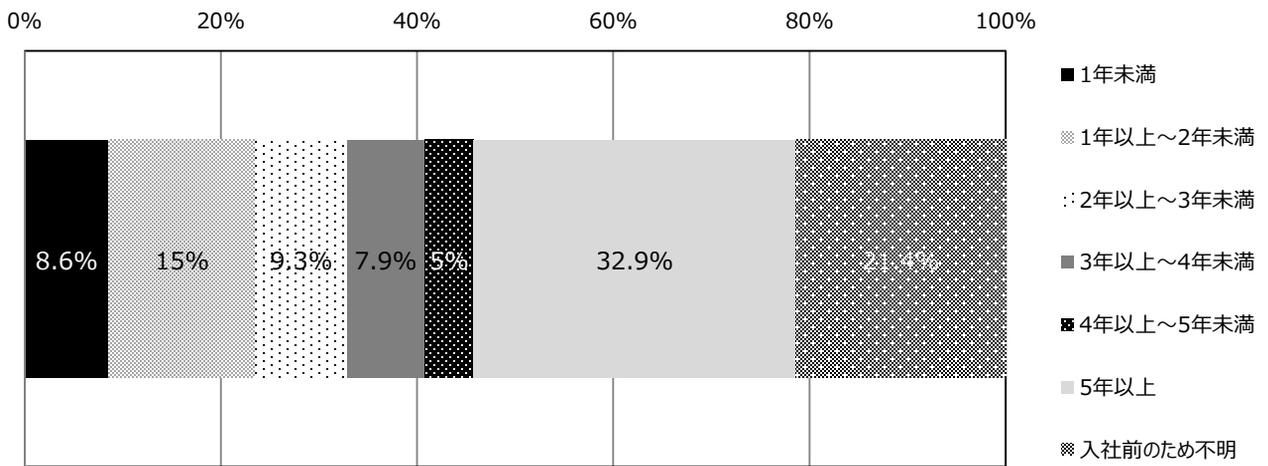
『早期離職』と『日本語能力不足』が最も多く、そのほか『スキル不足』という回答が挙げられた。

離職までの期間は「5年以上」が最も高く、「3年未満は」約3割に

離職までの期間で最も多かったのが「5年以上」で32.9%、中でも5000人以上の企業が57.1%と高い割合となった。単純比較はできないものの、厚生労働省が公表している新規学卒就職者の3年未満の離職率32.2%(平成26年3月)と比べると、今回の調査で3年未満の離職が計32.9%となり、似たような傾向が表れていた。離職理由では、「家族の問題や帰国」の33.6%が最も多く、次に「キャリアアップ」の19.9%が続いた。また外国人留学生に対する印象では、語学の問題のほか「文化的な違い」や「仕事に対する姿勢」の違いが挙げられた。

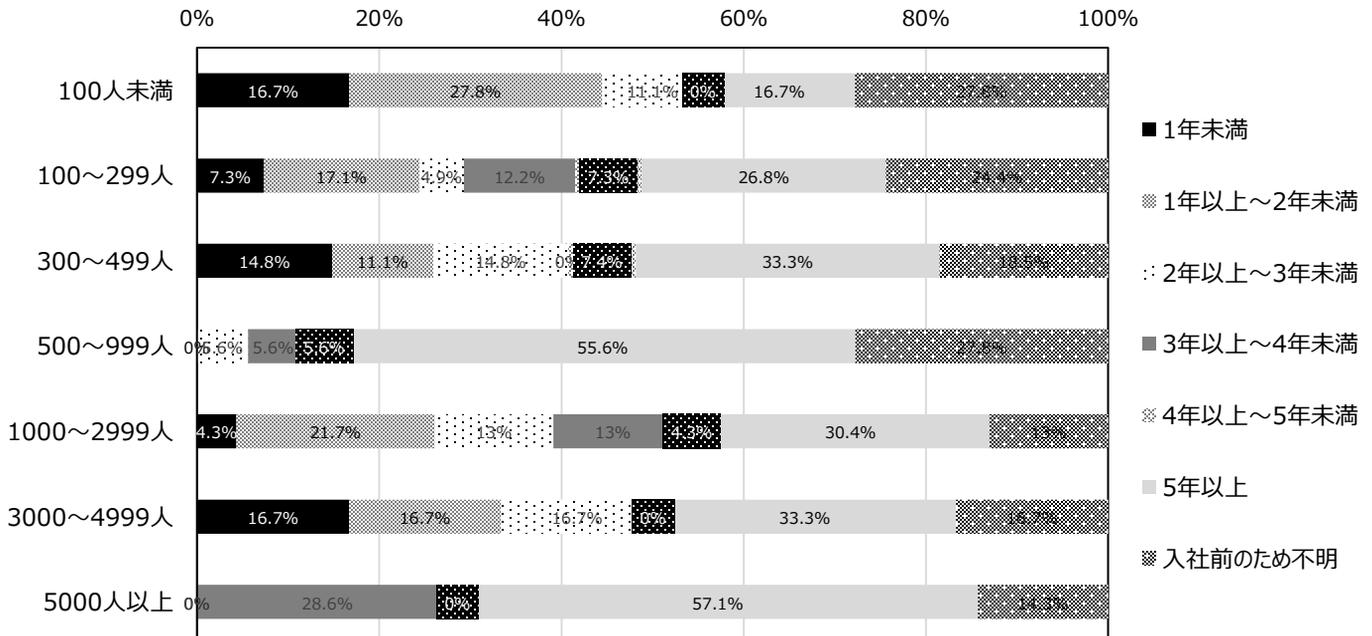
◆外国人留学生の入社後の離職について（単一選択、146社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

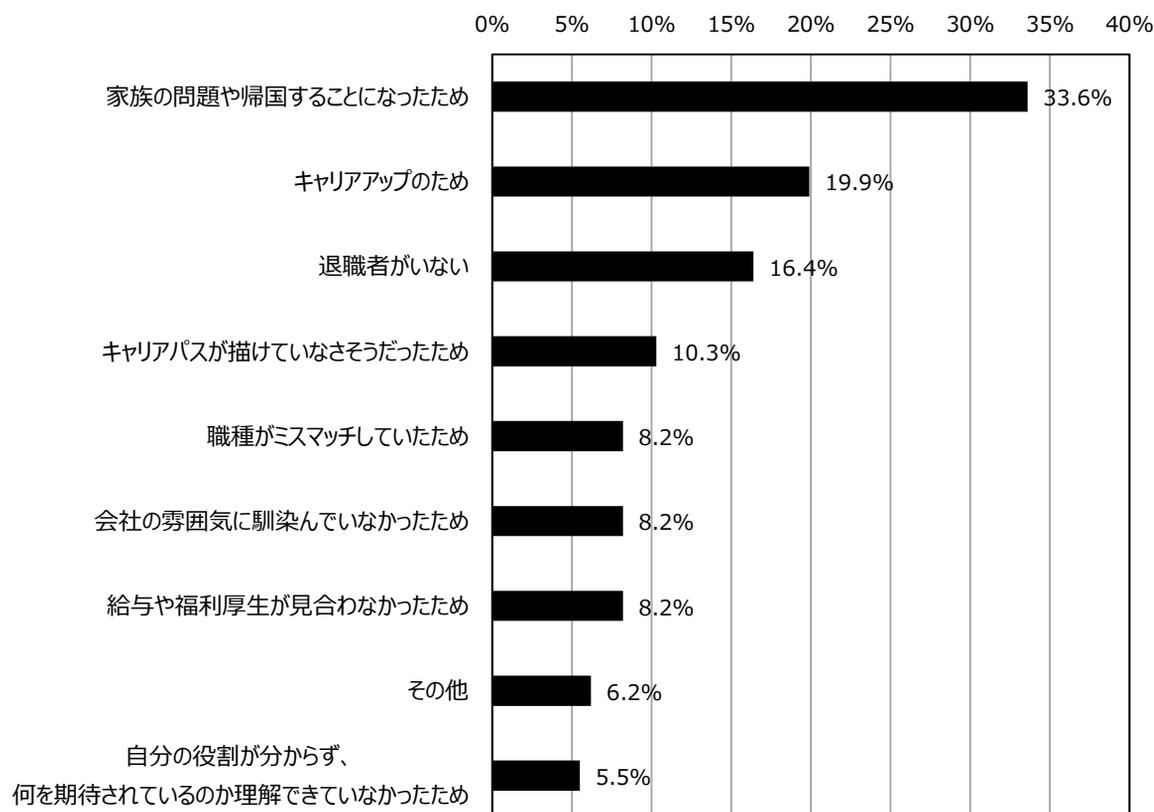


◆【従業員別】外国人留学生の入社後の離職について（単一選択、163社回答 %表記）

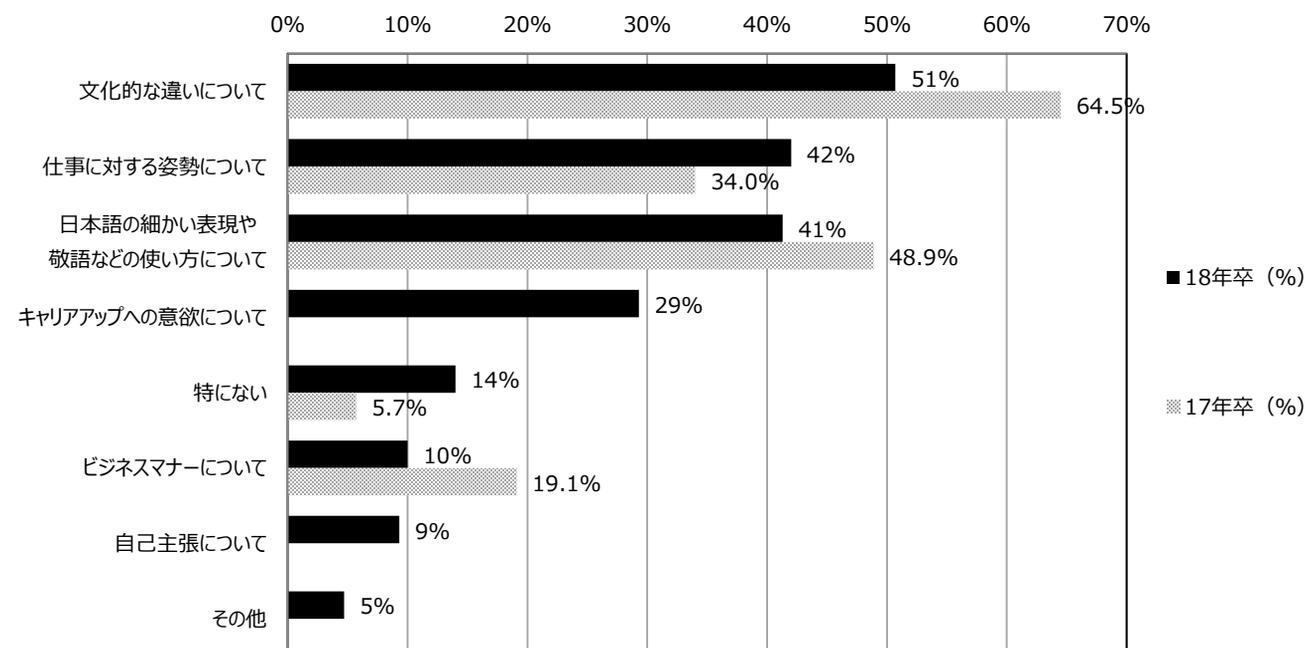
※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆外国人留学生の入社後の離職理由について（複数選択、146社回答 %表記）
 ※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆外国人留学生にどのような「違い」を感じましたか？（複数選択、150社回答 %表記）
 ※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



04

今後の外国人留学生の採用予定について



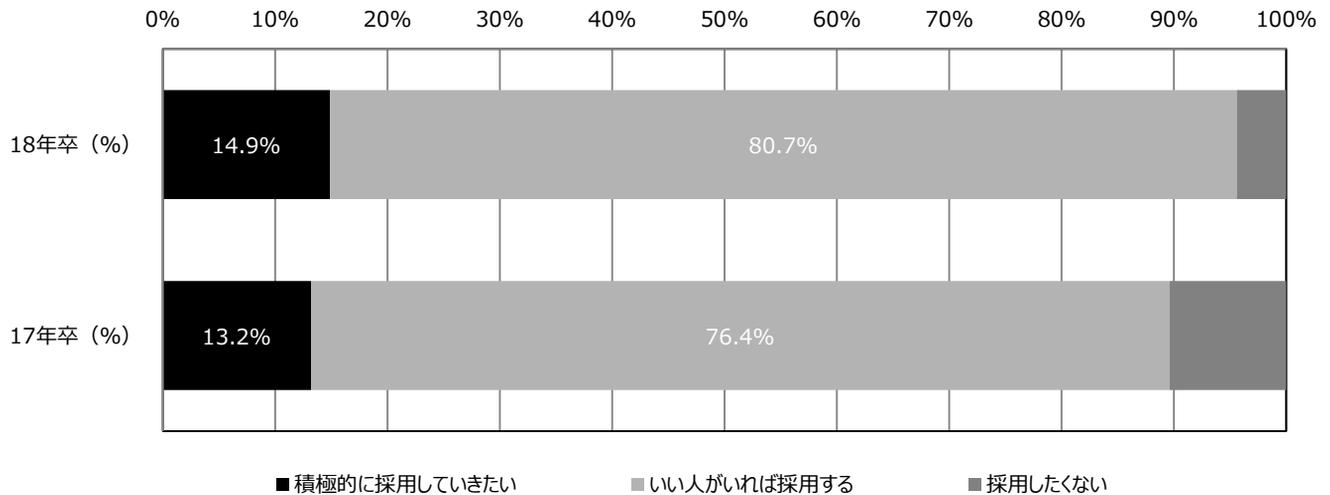
- 15) 今後の外国人留学生採用予定について
- 16) 外国人留学生の2019年卒採用予定について

「積極的に採用」は微増、「いい人がいれば採用する」が圧倒的多数

「積極的に採用していきたい」と「いい人がいれば採用する」がそれぞれ微増となり、合わせて95.6%が外国人留学生の採用の可能性を示唆する結果となった。従業員別で見ると、3000～5000人の企業が、「積極的に採用していきたい」と回答した割合が前年では0%だったのに対し、今回16.7%と大きく割合が増加した。そのほかの従業員別でも、前年と比べて「いい人がいれば採用する」と回答した割合が増えた結果となった。

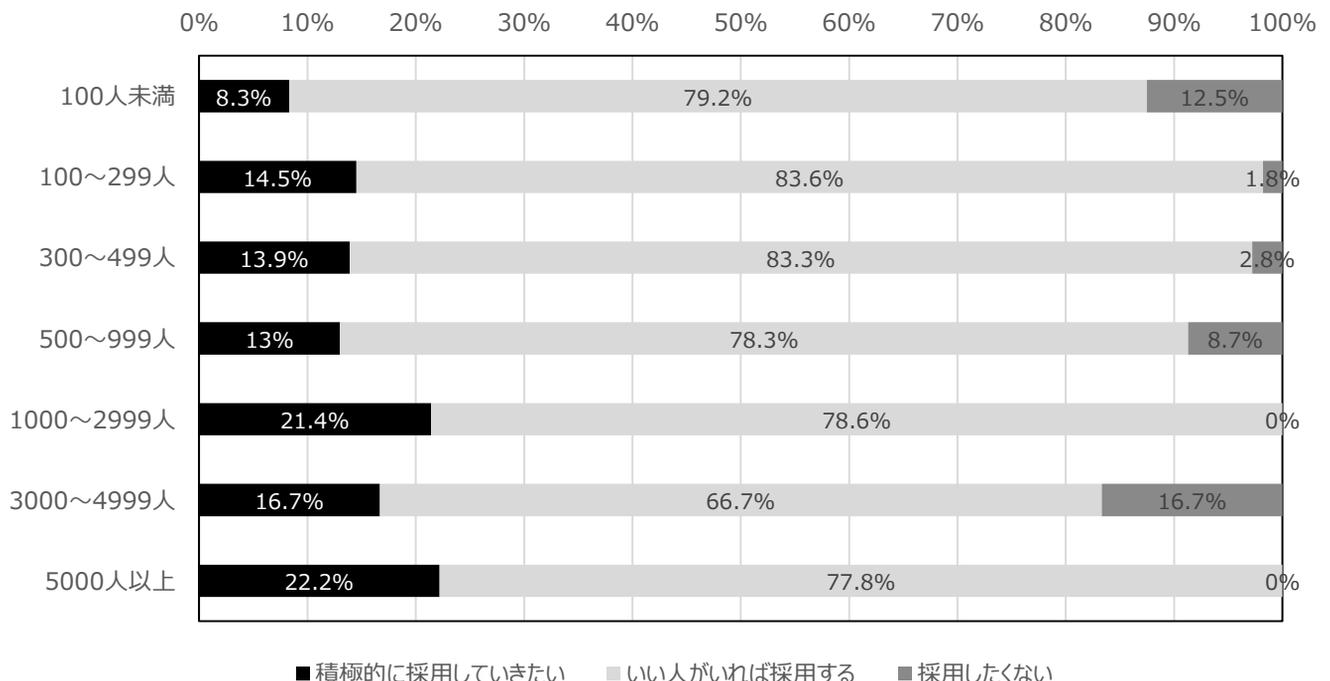
◆外国人留学生を今後採用したいと思うか（単一選択、181社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答



◆【従業員別】外国人留学生を今後採用したいと思うか（単一選択、181社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

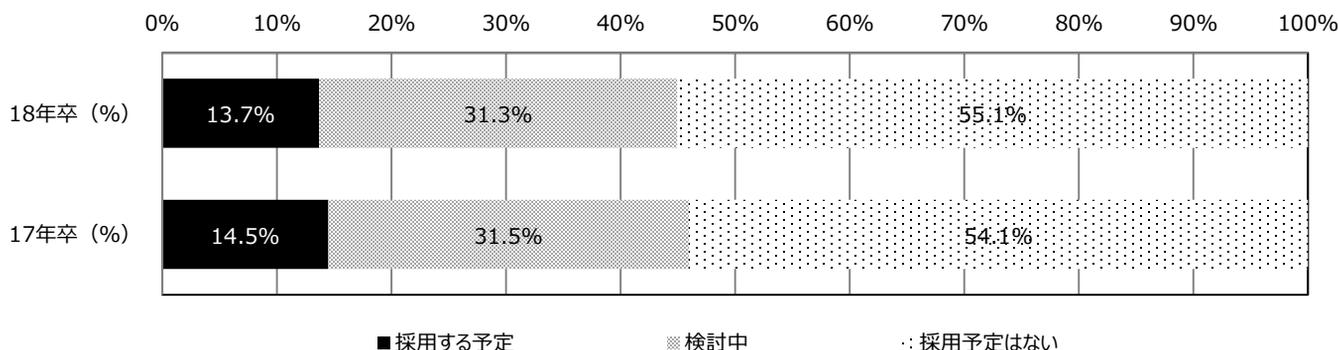


全体の採用予定は若干減少、従業員別で採用予定に変化

2019年卒の採用予定は、前年を少し下回り13.7%という結果となったものの、検討中を含めると前年と大きく変わらない結果となった。従業員別では、5000人以上の企業が「採用する予定」と回答した割合が、前年の60.0%から20pt下回り40.0%に止まり、予め採用を控える結果となった。一方、3000～5000人未満の企業で「採用予定はない」と回答した割合が、前年の60.0%から37.5%に大幅に割合を下げ、採用の可能性が高まっている様子がうかがえる。採用予定が、従業員別で変化が見られる結果となった。

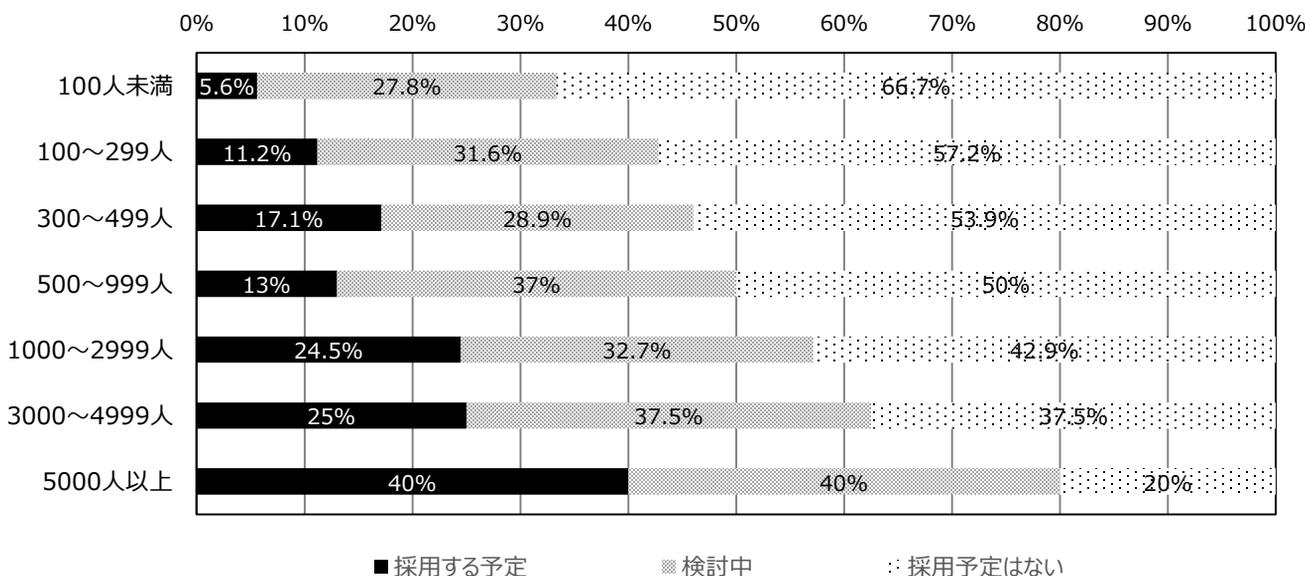
◆2019年卒外国人留学生の採用予定について（単一選択、454社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による必須回答



◆【従業員規模別】2018年卒外国人留学生の採用予定について（単一選択、454社回答 %表記）

※本調査にご回答頂いた全企業による必須回答



◆2018年卒採用実績なし企業のみ、2019年卒採用予定について

（単一選択、362社回答 %表記） ※本調査にご回答頂いた全企業による任意回答

